

# 愛媛県の2024年輸出動向

2025年4月14日

日本銀行松山支店

本稿の内容について、商用目的で転載・複製を行う場合は、予め日本銀行松山支店までご相談ください。転載・複製を行う場合は、出所を明記してください。

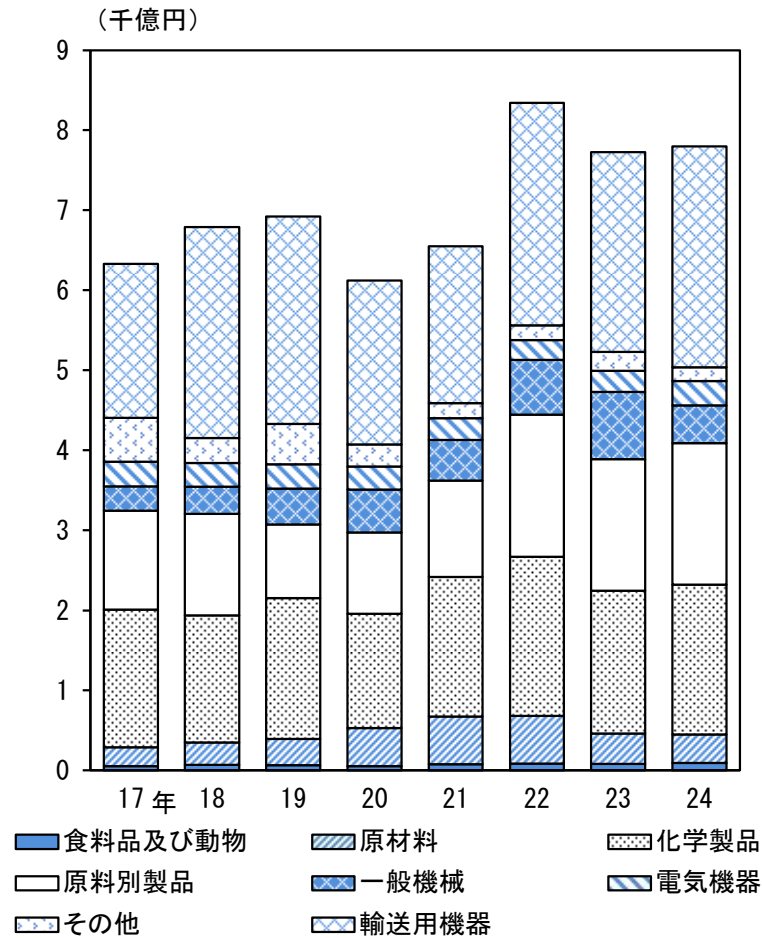
本稿は関口裕太（現・金融機構局）が担当しました。【照会先】日本銀行松山支店総務課（089-933-2213）

# 【要旨】

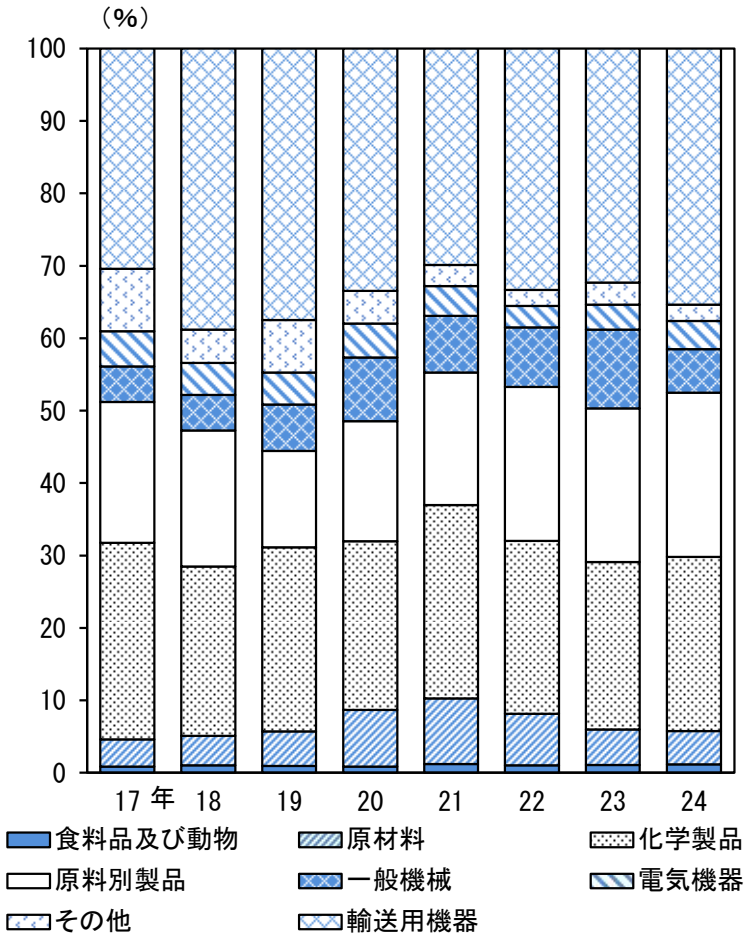
- 本稿では、財務省が公表している貿易統計を基に、愛媛県の輸出動向を整理した。ここでいう愛媛県の輸出動向は、松山港、今治港、新居浜港、三島川之江港、宇和島港の5港に蔵置された貨物の通関額を合計したものである。
  
- 2024年の愛媛県からの輸出総額は、輸送用機器の増加から前年比+0.9%と2年ぶりに増加した（図表1）。
  - 全国の輸出総額に占める愛媛県のシェアは0.7%（図表2）。概況品別では、輸送用機器・原料別製品・化学製品の割合が高く、輸出相手国別では、パナマやリベリアといった船舶の便宜置籍国に加え、中国・台湾・韓国といったアジア地域向けの割合が高い点の特徴（図表3）。
  
- もっとも、輸送用機器を除いたベースで見ると、一般機械の減少から同▲3.9%と2年連続で減少した。
  - 輸送用機器は1品あたりの金額が大きく、単月でみたときの振れの要因となることから、本店が愛媛県金融経済概況にて公表している輸出は、輸送用機器を除いたベースで判断しており、現在はこうした動きを踏まえ「一部に弱い動きがみられる」としている。
  
- なお、愛媛県外から上記5港に持ち込まれた貨物が含まれる一方で、愛媛県内から上記5港以外の港（県外の港）に持ち出された貨物は含まれない点には留意する必要がある。

# 【図表 1】 概況品別輸出総額・割合の推移

## (1) 輸出総額



## (2) 概況品別ウエイト

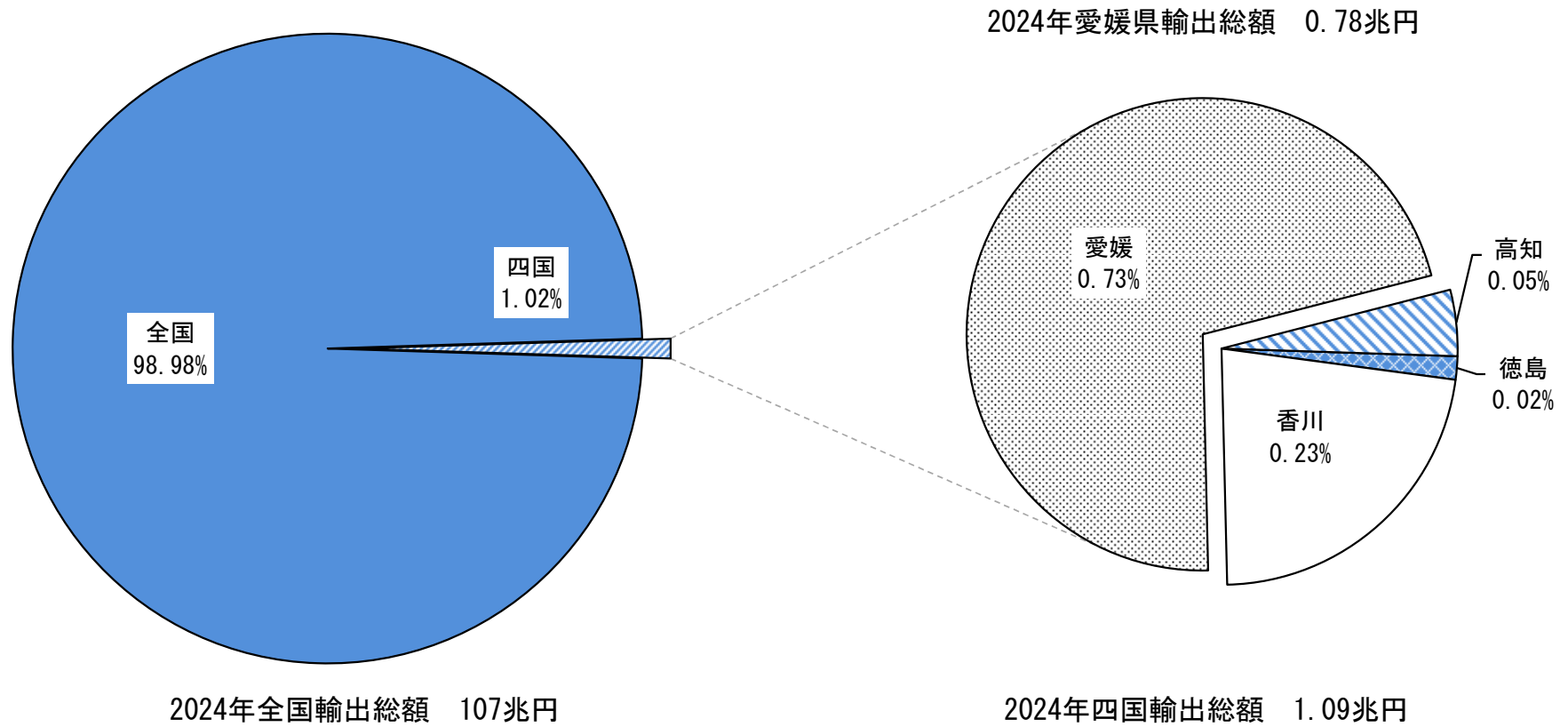


(注1) 2024年の計数は、2025年3月13日時点の「確々報」ベース。以下の図表でも同様。

(注2) 「その他」に含まれる概況品は「飲料及びたばこ」、「鉱物性燃料」、「動植物性油脂」、「雑製品」、「特殊取扱品」。

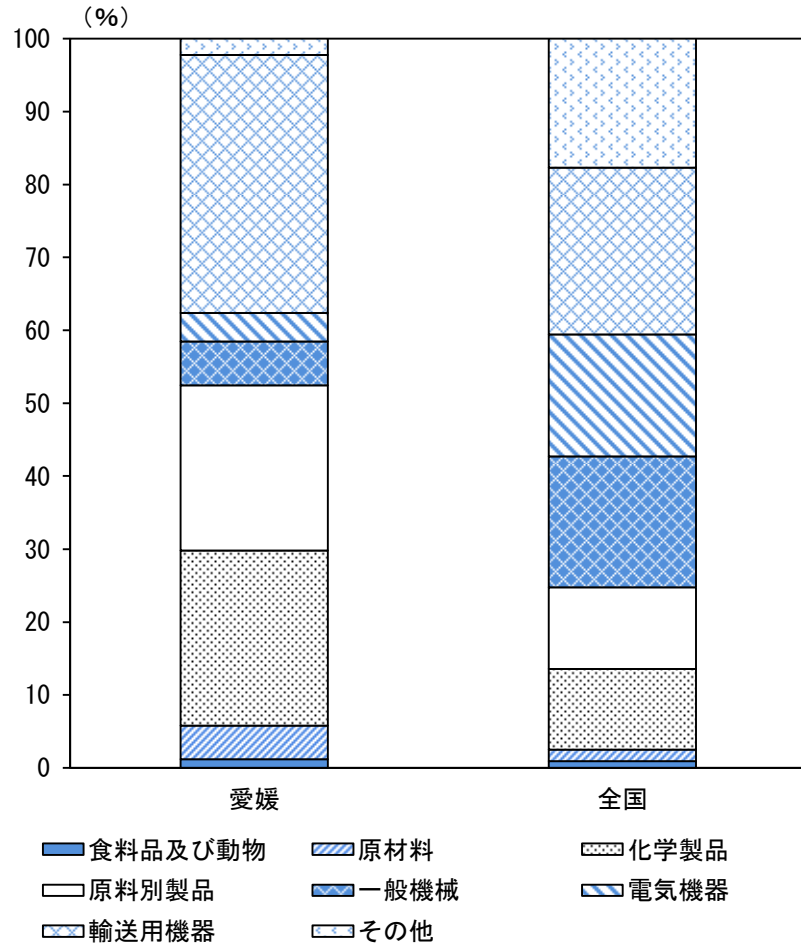
(出所) 財務省 (以下の図表でも同様)

【図表2】 全国に対する輸出額のシェア

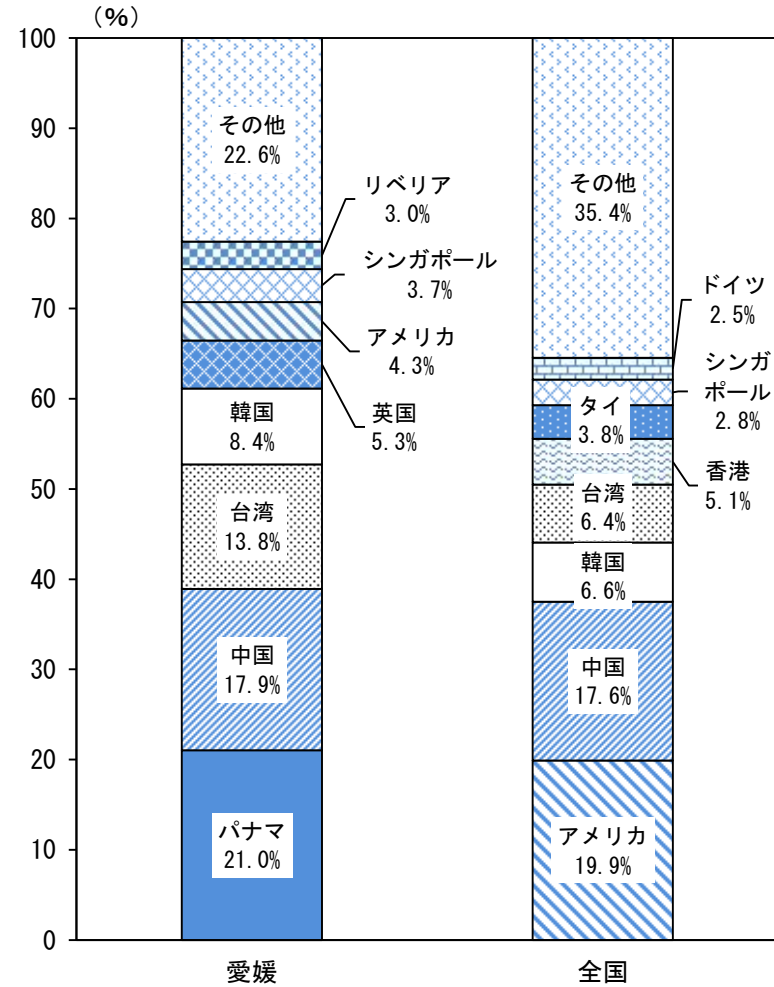


# 【図表3】愛媛県と全国の輸出構成比較（2024年）

## (1) 概況品別ウエイトの比較



## (2) 輸出相手国

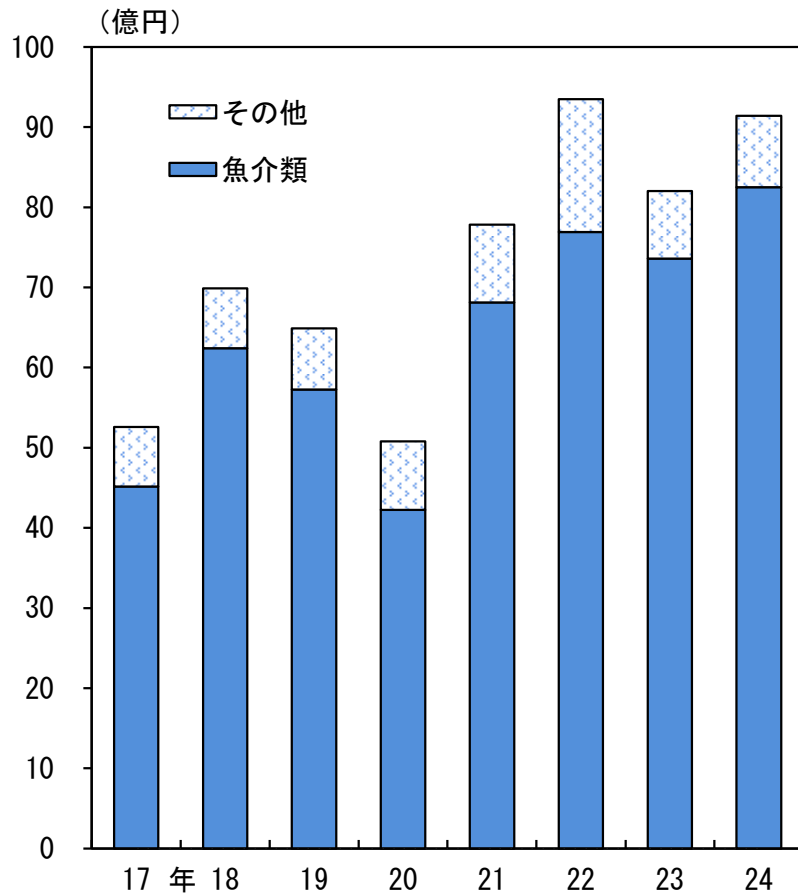


## 概況品別の動向

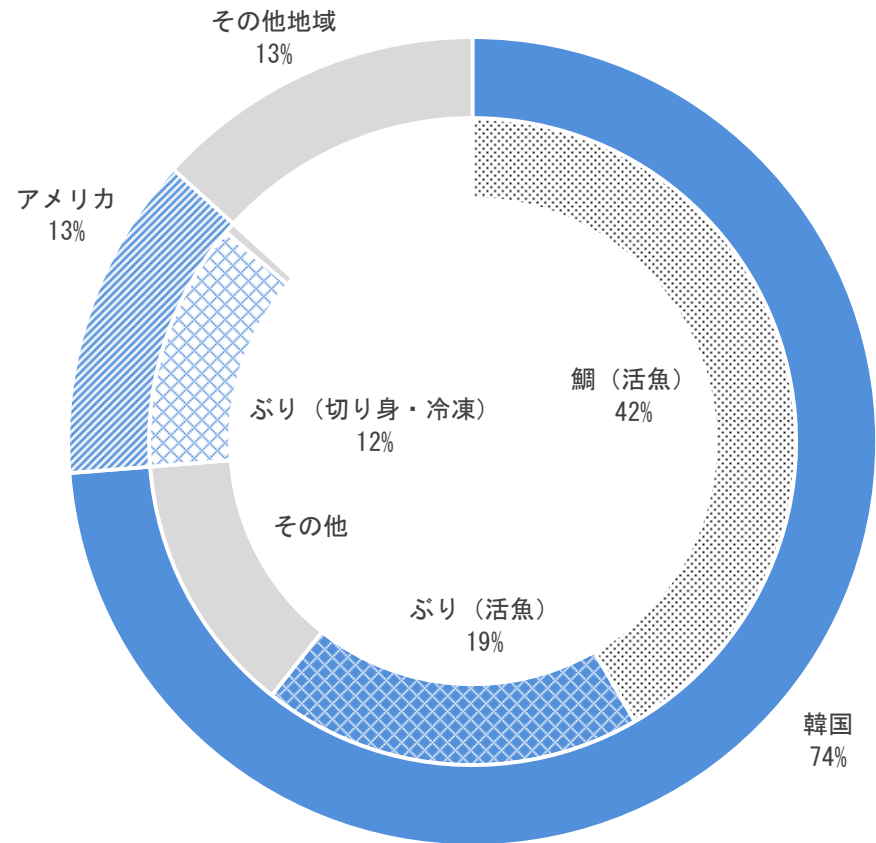
## 【図表4】食料品及び動物

- 魚介類を中心に増加トレンドが継続。
- 鯛やぶりの活魚は距離が近い韓国向けに出荷され、距離の離れたアメリカ向けには、切り身に加工された状態のぶりが輸出されている。

(1) 概況品別輸出額



(2) 国別・概況品別割合(2024年)

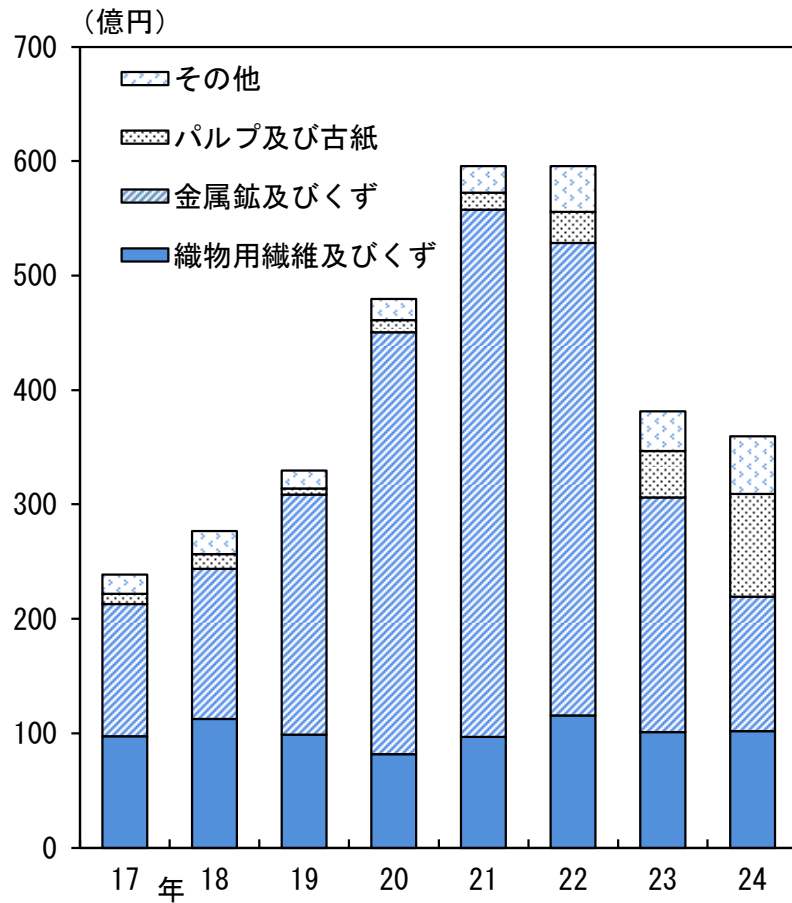


(注) 鯛(活魚)、ぶり(活魚)、ぶり(切り身・冷凍)は、概況品「魚介類」に含まれる統計品目で、輸出品目コードにおける0301.99-100、0301.99-200、0304.89-200をそれぞれ指す。

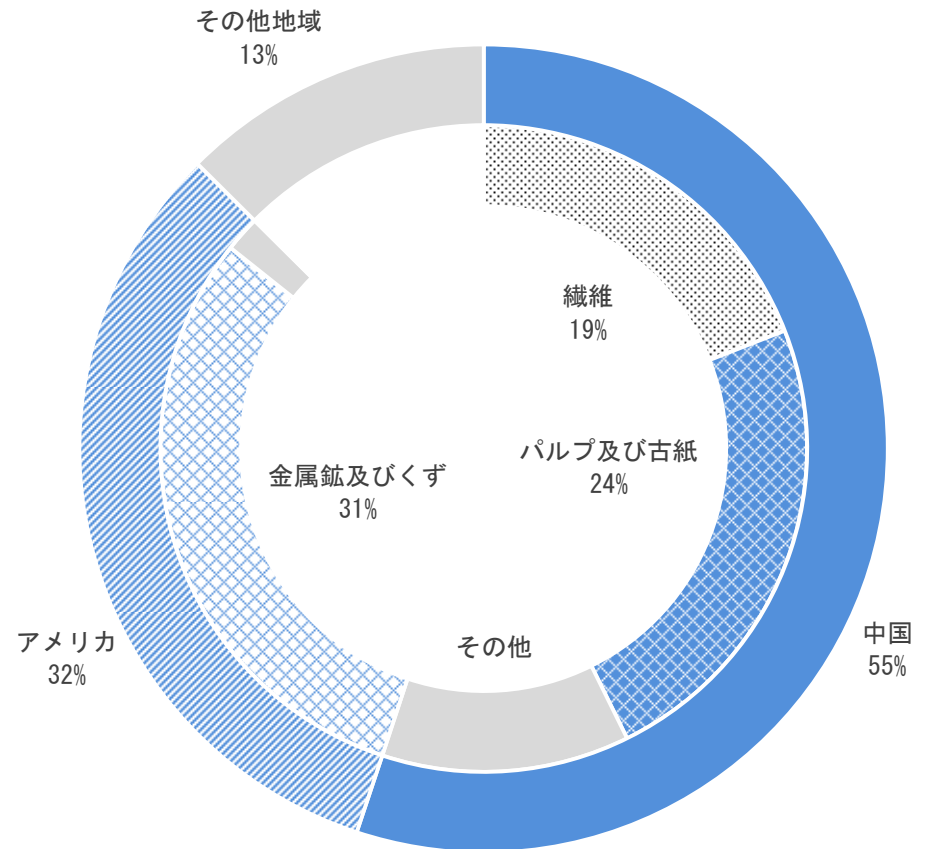
## 【図表5】 原材料

- 2023年以降、米国向けの「金属鉱及びくず」の減少を主因に、2022年時の半分近くまで減少。

(1) 概況品別輸出額



(2) 国別・概況品別割合(2024年)

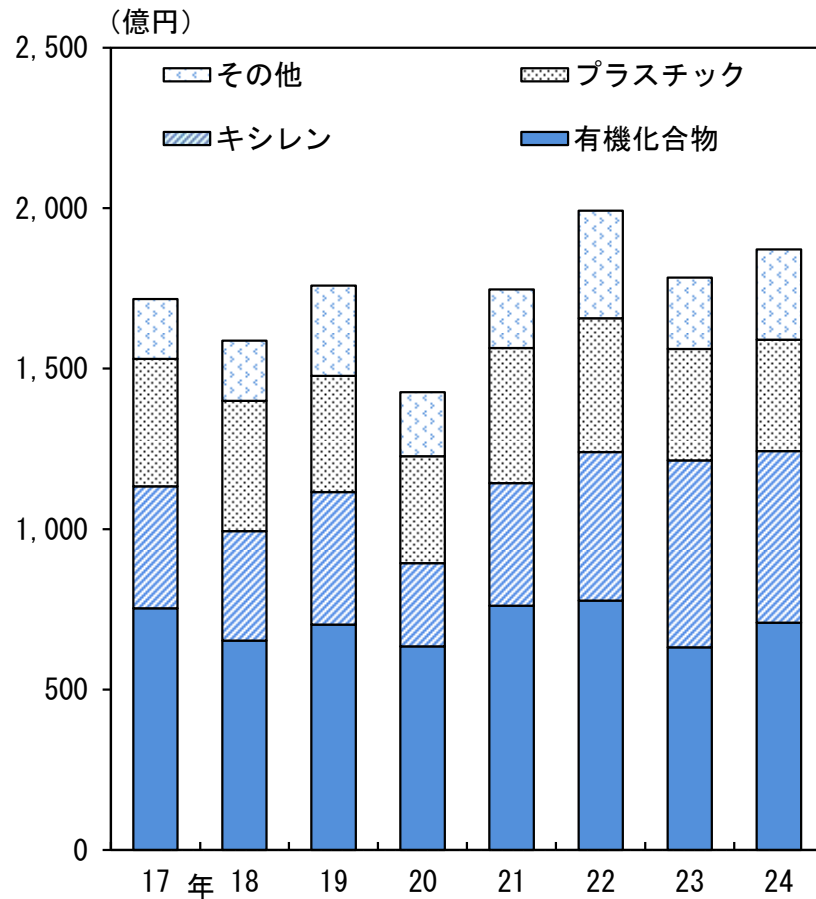




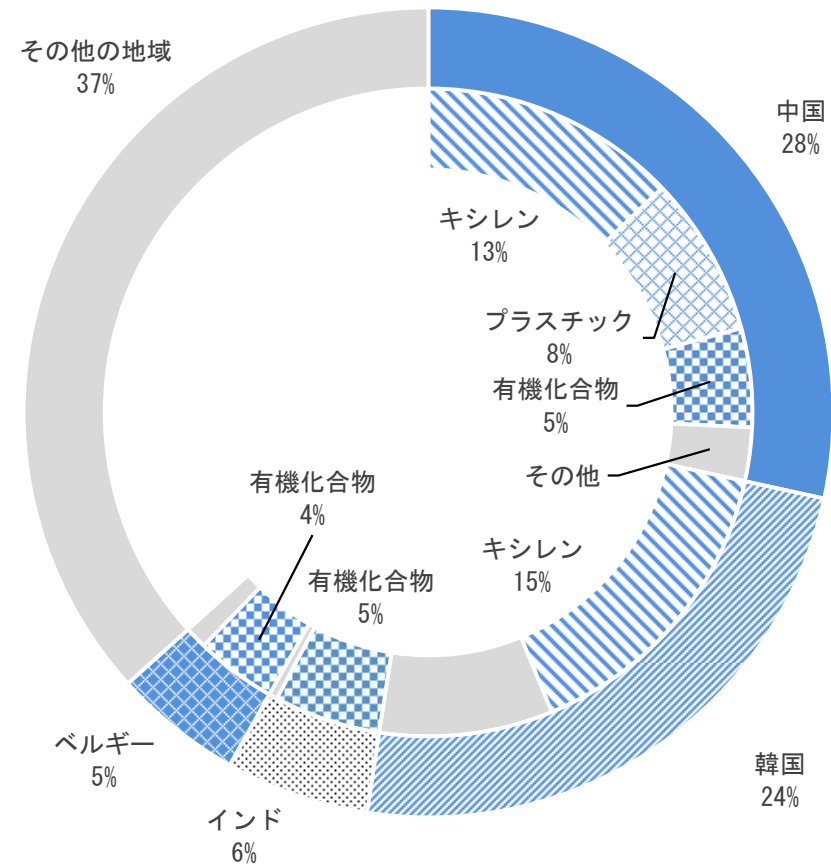
## 【図表6】化学製品

- プラスチックは主に中国に、キシレンは中国・韓国を中心に、有機化合物は東アジア地域に限らずインドやベルギーなど世界各国に輸出されている。

(1) 概況品別輸出額



(2) 国別・概況品別割合(2024年)



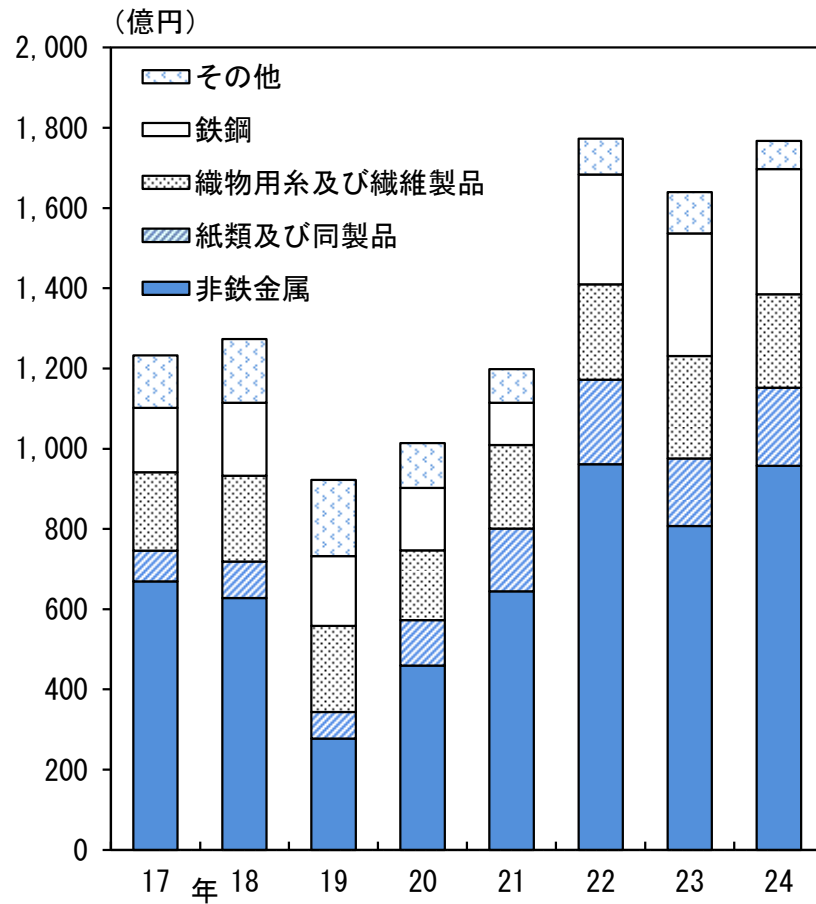
(注1) キシレンは、概況品「鉱物性タール及び粗製薬品」に含まれる統計品目で、輸出品目コードにおける2707.30-000を指す。

(注2) キシレンは石油化学製品の種類で、主な用途としては、ペットボトル等に用いられる樹脂の原料、などが挙げられる。

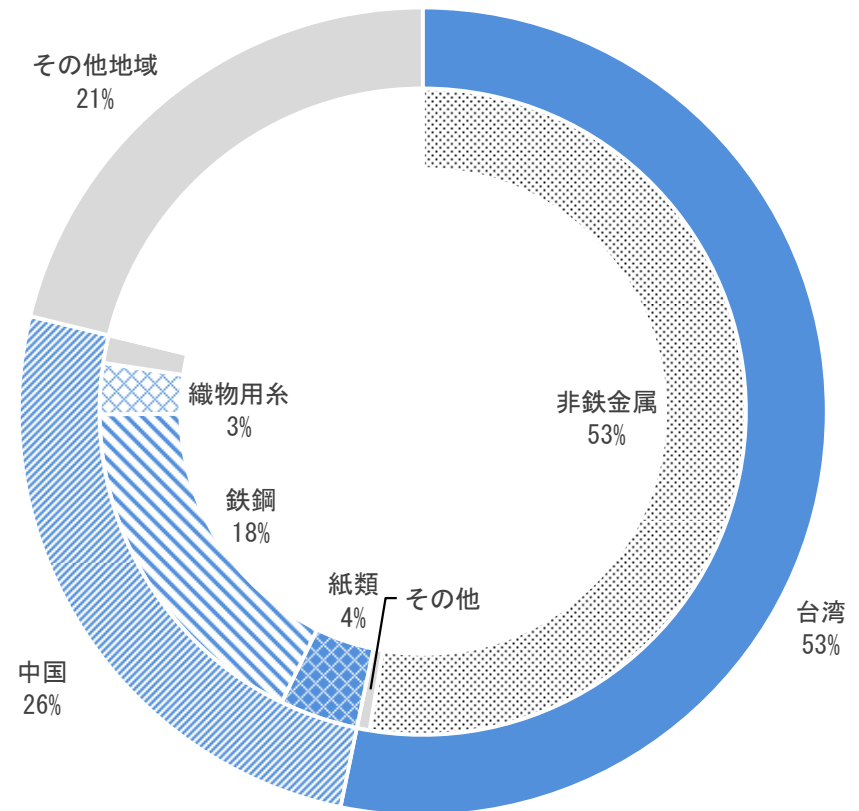
## 【図表7】原料別製品

- 内訳の約半分を台湾向けの非鉄金属（電気銅）が占める。
- それ以外では、中国向けの鉄鋼の割合が大きい。

(1) 概況品別輸出額



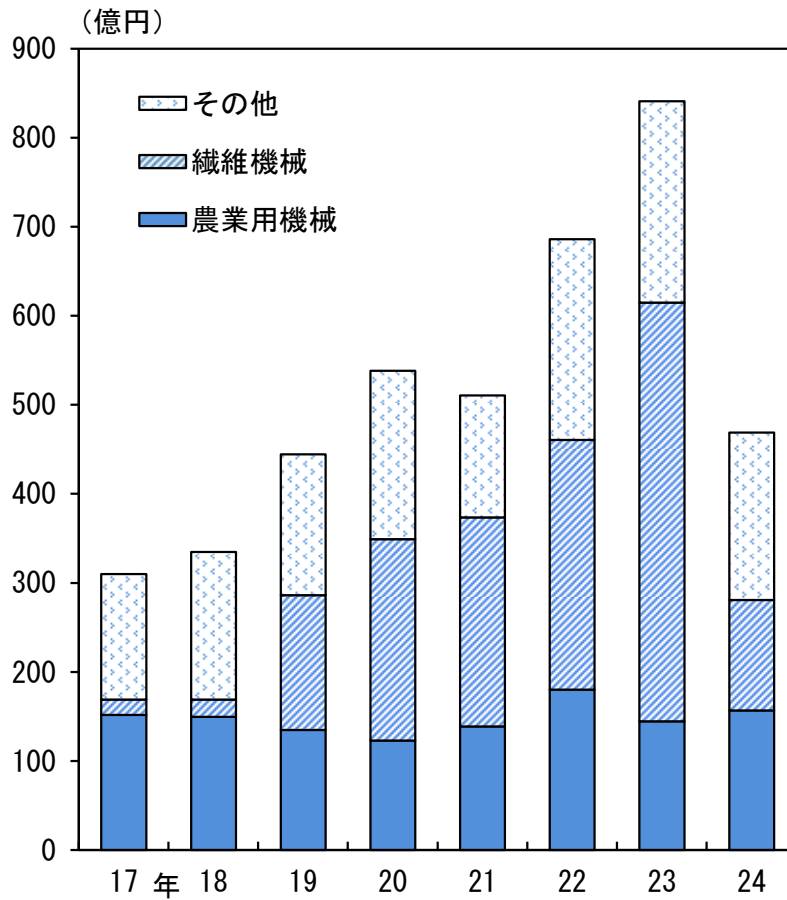
(2) 国別・概況品別割合(2024年)



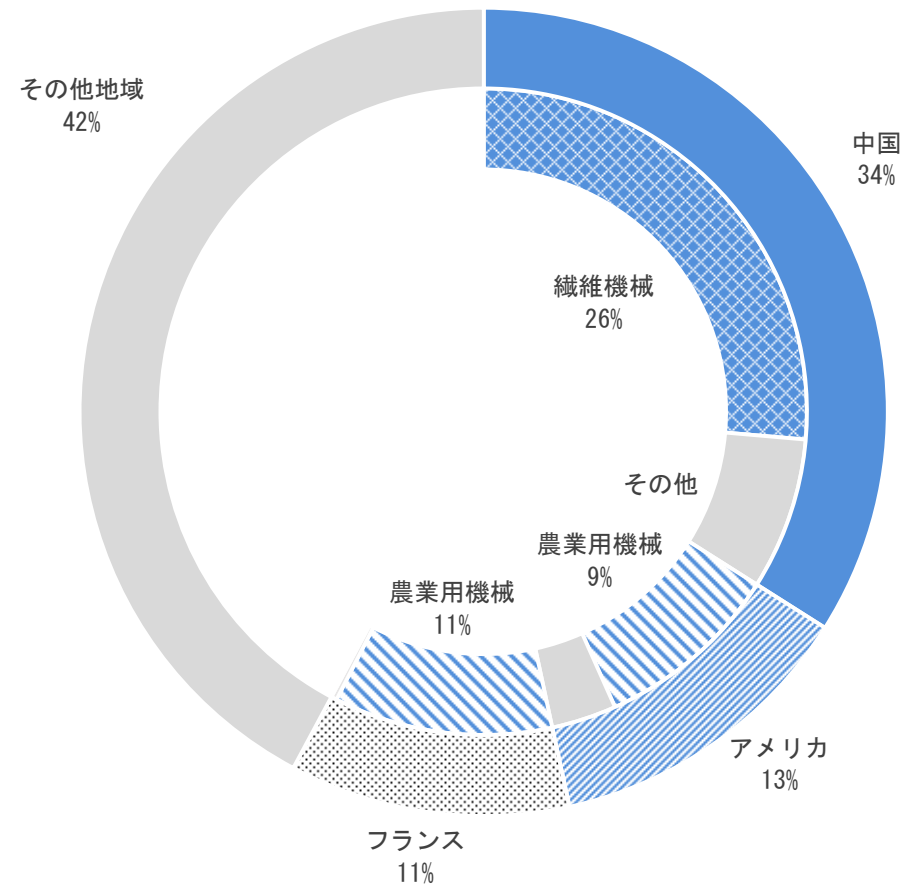
## 【図表 8】 一般機械

- 2024年は繊維機械の輸出が大きく減少。
- 農業用機械は、アメリカのほか、フランス、ドイツ、ベルギーなどEU圏に輸出されている。

(1) 概況品別輸出額



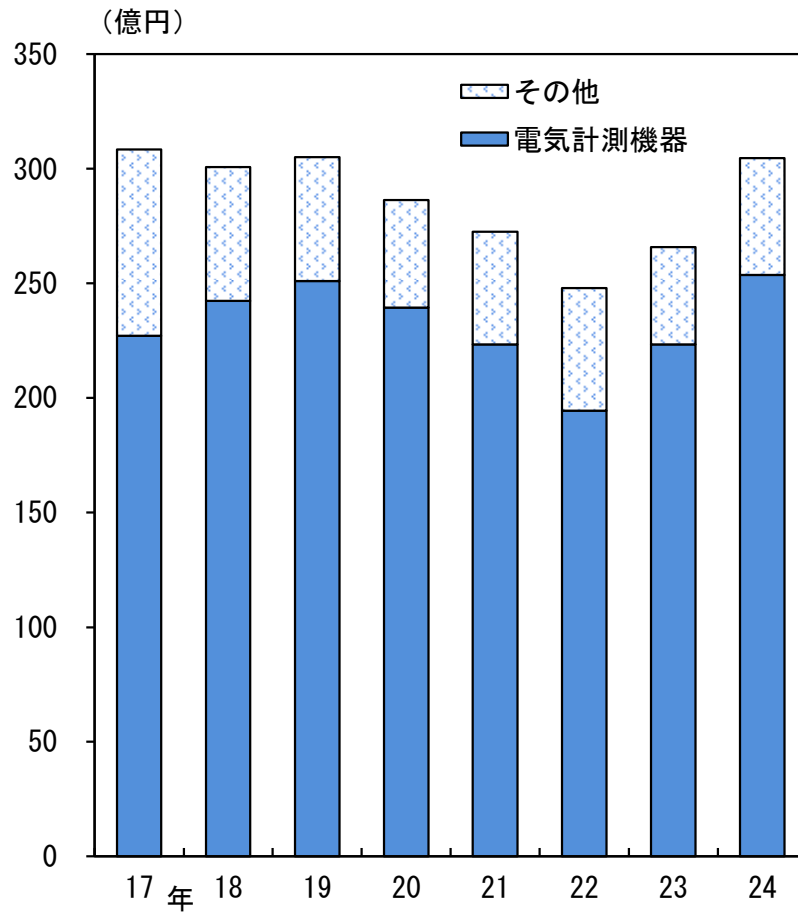
(2) 国別・概況品別割合(2024年)



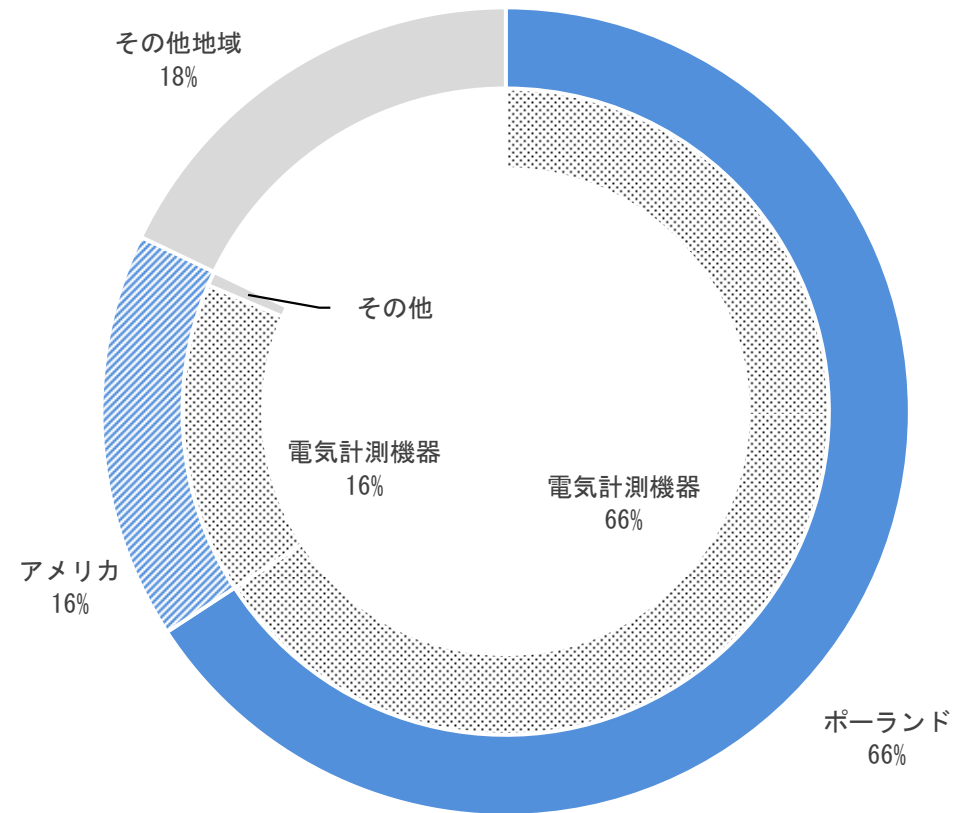
## 【図表9】電気機器

- 内訳の大半は電気計測機器で、主にポーランド、アメリカ、アジア地域向けに輸出されている。

(1) 概況品別輸出額



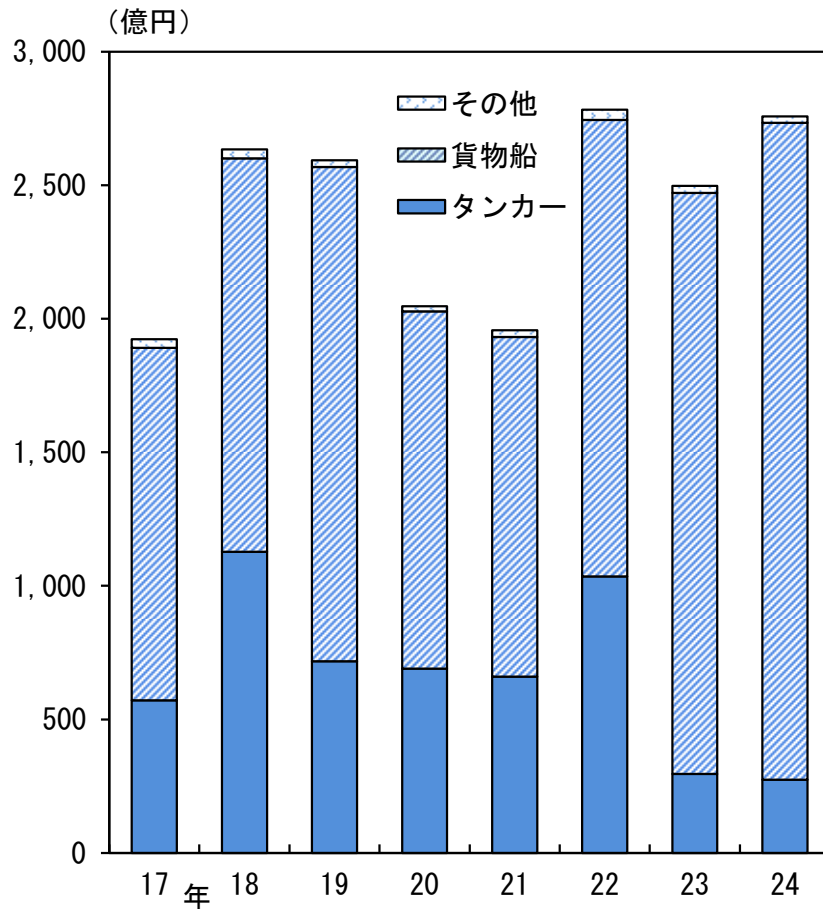
(2) 国別・概況品別割合(2024年)



## 【図表10】 輸送用機器

- 貨物船が大半を占めており、輸出先はパナマ、リベリアなどの便宜置籍国が上位を占めている。

(1) 概況品別輸出額



(2) 国別・概況品別割合(2024年)

